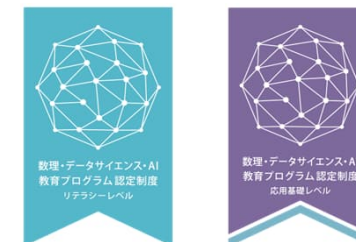


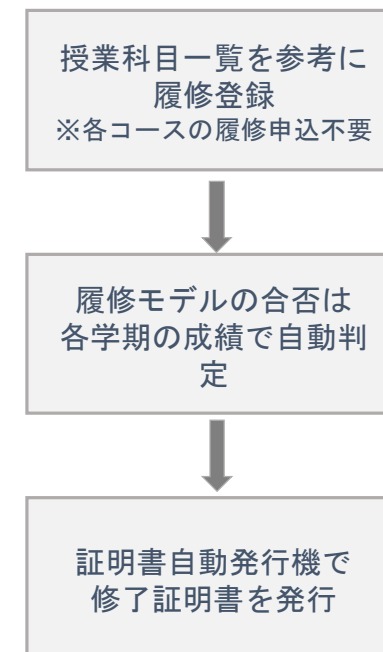
名古屋工業大学数理情報履修モデル

2020年度以降に入学した工学部学生を対象とする、数理情報教育の履修モデルです。
数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成します。

コース	目的	修了要件 (高度・創造工学教育課程)	修了要件 (基幹工学教育課程)
数理情報 ベースコース <small>数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 リテラシーレベル 認定：2026年3月31日まで</small>	数理情報の理論的基盤である「統計学・計算機科学・数学」のうち、統計学及び数学の基礎的な知識を身に付け、与えられたデータに対して基本的な解析と統計的推測及び得られた知見を他者に伝える基本的な能力を修得する。	別表2の科目群1を5科目10単位以上修得。	別表3の科目群1を5科目10単位以上修得。
数理情報 スタンダード コース <small>(高度・創造工学教育課程) 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 応用基礎レベル 認定：2027年3月31日まで</small>	数理情報の理論的基盤である「統計学・計算機科学・数学」のうち、統計学及び数学の基礎的な知識を身に付け、自身の専門分野における研究・開発過程で生じたデータに対して、必要な解析と統計的推測及び得られた知見を他者に伝える基本的な能力を修得する。	別表2の区分(A, B, C, D)の2区分以上から、科目群1を5科目10単位以上及び科目群2又は科目群3を2科目4単位以上、及び演習・課題解決型学修科目から1科目以上修得。	別表3の区分(A, B, C, D)の2区分以上から、科目群1を5科目10単位以上及び科目群2を2科目4単位以上修得。
数理情報 アドバンスト コース	数理情報の理論的基盤である「統計学・計算機科学・数学」の基礎的な知識を身に付け、自身の専門分野での研究・開発過程で生じたデータに対して、必要な解析、統計的推測や機械学習の手法を自ら選んで計算機上で効率的に処理し、得られた知見を他者に伝える基本的な能力を修得する。	別表2の区分(A, B, C, D)の3区分以上から、科目群1を5科目10単位以上、科目群2を4科目8単位以上及び科目群3を2科目4単位以上修得。	



◆ 履修の流れ



修了要件を満たすと、随時発行可能。

